

みおも

11/1

No. 731

NOV. 2002



CONTENTS

- | | |
|---------------------------------------|--------|
| □特集 | 2ページ～ |
| 人に優しくなれる健康な環境づくりをめざして
～ MT夢クラブ21 ～ | |
| □ほっとアングル | 10ページ～ |
| □健康ファミリー・だんらん | 12ページ～ |
| □情報かわら版 | 14ページ～ |
| □相談コーナー・こよみ | 18ページ～ |

「私たち「姫ロード」は、和気あいあいとした雰囲気の中で活動しています。踊ることが大好きな人には、ぜひ「姫ロード」の一員になって、私たちと一緒に鳴子踊りの楽しさや、喜びを体験していただきたいですね。」
「姫ロード」の皆さん、「鳴子踊りin太田宿」では、息の合った鳴子踊りを期待していますよ。

「姫ロード」(代表 今井清代^{きよ}さん)
11月3日に、500人以上の人たちが参加して行われる「鳴子踊りin太田宿」。「姫ロード」は、その大イベントで、ダイナミックな鳴子踊りを披露しようと、日夜練習に励んでいます。
代表の今井清代さんに「姫ロード」について伺いました。

ヒューマン
倶楽部
56

人に優しくなれる健康な環境づくりを

子どもたちにいろいろな文化やスポーツ体験ができる環境づくりを
スタートしたMT夢クラブ21



小学校では、子どもたちにいろいろなことを体験してもらうため、MT夢クラブ21のひとつとして、チャレンジクラブが開かれています。

上／加茂野小学校のチャレンジクラブである、「げんきっこクラブ」。写真はドッジボールを楽しんでいるところ。

左／太田小学校のチャレンジクラブ。写真は小学校の体育館などを使って、剣道を練習しているところ。

4 月から始まった学校の完全週5日制は、地名や年号など知識を覚える教育内容を3割削減し、子どもたちにゆとりを持つことを目的とした教育内容へと変わりました。

これにより、子どもたちは、土・日曜日が休みになり、時間的なゆとりが生まれました。

こうした背景の中、「いつでもどこでもだれもがいつまでも」気軽に文化、スポーツ活動ができる環境づくりが必要となり、MT夢クラブ21が立ちあがりました。

「総合型地域文化・スポーツクラブ」を目指すこのクラブは、最初のステップとして、

①子どもたちにスポーツ活動のみならず、公民館活動などのさまざまな芸術・文化活動の門戸を開く。

②クラブに関し、技術、メンタル、運用管理面などをサポートするクラブサポーター体制の確立。

③中学校部活動の選択制の導入。

を目標に取り組んでいます。

現在、MT夢クラブ21の加入団体数

は143となっており、その内訳は部活動が49、クラブが89、小学校低学年を対象としたチャレンジクラブが5となっています。加入するには次のような手順で行われます。

まず、小学生の場合はPTA総会で、中学生の場合は部活動説明会にてこのクラブの説明が行われます。入会したいクラブがあれば、学級担任の先生に夢クラブ見学届を提出し、希望するクラブを見学(可能な団体に限りです)することになります。

小学生はクラブの中で自分が活動してみたいクラブがあれば、学級担任の先生に加入届を提出し、加入することになります。

小学生とは異なり、中学生の場合は、MT夢クラブ21の中に学校での部活動も含まれるため、次のいずれから選択することで、MT夢クラブ21に加入することになります。

①学校の部活動のみ

②学校の部活動+夢クラブ(複数可)

③夢クラブのみ(複数可)



上／心と身体を一体として使うことを目的に合気道のほか、一般的な運動能力を高めるための基礎的な運動も行っている、龍安寺合気道会子どもクラスの活動風景。土曜日または日曜日に富加町 B&G 海洋センターの体育室を使って活動が行われています。教えているのは川村超世（かわむら・ちょうせい）師範。

左／小学生のヒップ・ホップ系のダンスクラブである BE-POP 太田（ビーポップ・おおた）の活動風景。毎週土曜日、太田小学校の体育館などを使用して活動しています。子どもたちといっしょに後ろで踊っているのは、保護者の皆さん。

では、実際に4月から、完全週5日制になったことで、子どもたちは土曜日をどのように過ごしているのでしょうか？

市教育センターが今年6月に市内12の小中学校のうち、4校を抽出し、小学校4・6年生、中学1・3年生の829人を対象にアンケートを実施しました。

この中で、「4月より土曜日が休みになることで、自由に過ごせる時間が去年よりも増えたと思いますか？」という質問に、82%の子どもたちが、「はい」と答えています。

ただし、「その土曜日に何をしていますか？（複数回答可）」という質問には、「家の周辺で家族や友だちといる、またはひとりである」という子どもが55%で最も多く、「MT夢クラブ21に参加する」という回答は27%でその次でした。

今回は、MT夢クラブ21が始まり、新たに子どもを受け入れることを開始したクラブを中心に、そこで活動している子どもたちやその指導者、また保護者から話を聞くことで、このクラブの現状を紹介します。

MT夢クラブ21に参加している子どもたちは・・・

実際にこのMT夢クラブ21に参加している子どもたちにも、入会した理由や中学校の部活動との違いなどについて聞いてみました。



バレーボールのいろんなことが聞け、気楽に取り組むことができるので、楽しい

美濃加茂クラブ（バレーボール）

堀文乃さん・岩腰佳恵さん・水川円香さん（東中学校1年）・林悦子さん（東中学校2年）



▲左から堀さん・岩越さん・水川さん・林さん

私 たちは、バレーボールが大好きで、学校以外にもバレーボールがやりたかったことが、このクラブに参加するようになった主な理由です。

このクラブと中学校の部活動との違いといえば、中学校の部活動には先輩、後輩という上下関係など厳しい面があり、部活動にはそれが必要なことだと思います。

ただ、このクラブはそういったことがないので、気楽に取り組むことができるし、練習していても楽しいので、このクラブがイヤになったことはな

いですね。

それに、このクラブだと何人かのコーチがいます。そういう人たちにバレーボールのことでのいろんな話を聞くことができ、練習の参考にもなります。このクラブでは、毎週土曜日の午後5時から練習していますが、このクラブでバレーボールをやっていると、いくらおなが空いていても忘れちゃうくらい楽しいです。



琴でどんどん新しい曲が弾けるようになるので、とても楽しい

美濃加茂KOTOクラブ（琴）

後藤麻衣さん（西中学校1年）・小森加奈子さん（古井小学校3年）・熊崎はる香さん（山手小学校1年）・鍵谷友香さん（山手小学校2年）



▲写真手前から後藤麻衣さん・小森加奈子さん・熊崎はる香さん・鍵谷友香さん

私 たちがこの美濃加茂KOTOクラブに入った理由は、琴を演奏することに興味があったからです。

このクラブの練習は月3回ということもあって、ほかに習い事がある中で、両立できるのではないかと思いましたが、

琴って最初、すごく難しいっていうイメージがあったのだけど、実際に弾いてみると楽しいし、思っていたより簡単な気がしています。

このクラブを始めてから4カ月ぐらいたちますが、今では（琴で）弾くこと

ができる曲がどんどん増えてきています。新しい曲を練習してその曲がすべて弾くことができるようになることとてもうれしいです。



▲美濃加茂KOTOクラブの活動風景。月3回土曜日の午後1時から山手小学校の音楽室で活動しています。講師は渡辺恵子さん。

MT夢クラブ21に参加している子どもの保護者は・・・

実際にこの夢クラブに参加している子どもたちの保護者の皆さんに、MT夢クラブ21について聞いてみました。



誰でも参加でき、楽しくスポーツができる
ことはこのクラブのいいところだと思う

美濃加茂クラブ（バレーボール）

大橋功さん（加茂野町）



▲大橋功さん。大橋さん自身、美濃加茂クラブに参加しており、子どもたちにバレーを指導しています。

中学2年生の息子は学校のバレーボール部に所属していますが、人数も多く、練習場所が確保されているこうしたクラブでバレーボールができればと思い、息子に聞いてみたところ、やってみたいということでしたので、練習に参加させています。

こういったクラブでは、好きなときに誰でも参加できますし、楽しくスポーツができるということはいいいことじゃないでしょうか。

子どもたちも、子どもたちなりにストレスを感じているでしょうから、ス

ポーツをすること、ストレスを発散できる場所があればいいと思うのです。実際、子供たちも楽しそうですよ。いやだったら、練習にも来ないでしょうし。

クラブに参加している子どもたちはもちろん中学校が違いますし、コーチも20代から40代までと年齢に幅があり、お互いにコミュニケーションが図れていいじゃないでしょうか。

また、子どもたちは一人ひとり個性が違います。ですから、例えば1人のコーチが教えることでも受け止め方が違います。

このクラブのように、複数のコーチが教えてもらうことは、自分で理解できるコーチから教えてもらって練習ができ、非常にいいことだと思いますよ。



子どもたちも楽しんでやっていて、非常に
いきいきしている

BE-POP 太田（ダンス）

小倉郁乃さん（深田町）



▲小倉郁乃さん。小倉さんの小学校2・3・6年生の子どもがBE-POP太田に参加しています。

し、実際、子どもたちも楽しんでやっていて、非常にいきいきしていますよ。

私たちも最初は子どもたちのダンスを見ているだけでしたが、しだいに盛り上がり、今ではいっしょに踊っています。自分たちもこのように体を動かすということはそうないですから、みんな楽しくやっています。

学校が週5日制になったけれども、子どもたちは、例えば、野球をやったり、このようにダンスをしたりとそれぞれ、過ごし方というのは違うと思うのです。そうした中で始まったこのMT夢クラブ21というのは、自分のやりたいことを見つけて、自分を表現するところだと思います。

MT
夢クラブ
21

スポーツ系
指導者

MT夢クラブ21でスポーツを指導している人は・・・

次に、このMT夢クラブ21でスポーツを指導している人に、クラブと部活動の違いや今後の取り組み方について聞いてみました。

自分たちの活動はバレーボールの活性化につながると思う

美濃加茂クラブ（バレーボール）

草田貴弘さん



▲草田貴弘さん。自身も美濃加茂クラブに入っていて、子どもたちを指導した後、練習しています。

よって練習メニューを組み立てたり、各個人の技術（レベル）に合わせて指導しなければならぬし、やはり週1回とはいわず、週2〜3回は活動していきたいです。1週間の中で2時間という限られた練習時間では、準備運動から全体的な練習までになると少し難しい気がします。

このMT夢クラブ21が始まってから、一番の問題はやはり、プラザちゅうたいなどの練習施設の確保ではないでしょうか。仮に、夜の7時からのコートが確保できれば、自分たちも活動しているので、コートの半面をMT夢クラブ21の子どもたちに、半面を自分たちというように使うことができます。

そうすれば、子どもたちに社会人のバレーボールというものがどれくらいものか見本となります。

施設確保にはMT夢クラブ21だけでなく、それ以外の団体も活動している現在の状況では、施設を確保するための調整が課題です。

現在、部員数の問題で中学校の男子バレー部が廃部になるところまで来ているところもあるようです。こうした自分たちの活動はバレーボールの活

性化につながると思うのです。やるからには、参加者の技術向上はもちろん、うまくなってほしいですから、こちらも一生懸命指導してあげたいです。

このクラブで、今は難しいですがバレーボール以外にもいろいろなレクリエーションや、クラブ運営などに会員が参加できるようにしてみたいです。子どもたちといっしょに活動しながら、いろいろな話を聞いて、いつかほかの地域のクラブと対外試合ができればと思っています。

今後もスタッフの指導体制を強化し、会員の子どもたちとともに夢クラブの活動を盛り上げていきたいと思っています。



▲美濃加茂クラブの練習風景。中学校の部活動とは違い、こうしたクラブでは、練習する服装も違います。子どもたちはコーチの話をみんな真剣に聞いていました。

MT夢クラブ21で文化活動を指導している人は・・・

次にこの夢クラブで文化活動を指導している人にクラブの取り組み方などについて聞いてみました。

MT
夢クラブ
21

文化系
指導者

子どもたちには、自分の特技を磨いてもらって、市の文化の底辺を広げてほしい

梅村書道教室(書 道)

梅村淳雄さん



▲梅村淳雄さん。夢クラブでは週3回、書道教室を開いています。日曜日は、下米田小学校の図書室を使って、教室を開いています。

(一) このクラブは、土曜日は中央公民館と下古井公民館、日曜日は下米田小学校で活動しています。
このほかに水曜日も下古井公民館で活動していますが、これは土曜日、日曜日にほかの夢クラブに参加している子どもたちがどうしても参加したいというので、午後5時30分から行っています。

下米田小学校で活動するようになったのは、校長先生がこの夢クラブに熱心に取り組んでいただいたおかげで、学校の施設を使うことができるようになったのです。
小さい時から好きなことを見つけたということは、非常にいいことだと思います。子どもたちは、何が自分には向いているのかわからないだろうし、いろんなものにチャレンジしてもらおうことの一環として、このクラブがあるのだと思うのです。
この習字のクラブを選んだ人が、もしこれが自分に合っているということであれば、その個性を伸ばしていく、伸ばすということも目に見えないものですから、例えば、段位を取得することなどで自分に自信を持つということですね。それが、社会で生きていく上で大切なことだと思っています。
仲間を作ることはもちろんですが、このような「自分探し」に取り組むことを望みます。
私自身は、このクラブ活動を行っていく上での支障は何も感じないし、むしろ子どもたちの笑顔や明るい雰囲気の中で教えることは楽しいです。

この小学校の図書室で習字をやっていると、子どもたちは笑いながら、学校の授業の延長みたいと言っていますよ。このクラブに来ている子どもたちは

人にいわれて来ているのと違い、教えていても受け取りがいいし、やる気があつて頼もしいです。こつこつた子どもたちが将来的には、自分の特技を磨いて、市の美術展などに積極的に参加してもらおうなど、美濃加茂市の文化の底辺を広げていってほしいですね。



▶書道教室の風景。子どもたちが書いた習字を梅村さんが添削しています。手前でも同じように添削しているのは、この教室でサポーターとして指導している、山手小学校教諭の多和田温子さん。

サポーターとは・・・MT夢クラブ21の中で技術面やメンタル面、クラブの管理運用などをサポートしてくれる人をいいます。

始まったMT夢クラブ21のサポーターは・・・

サポーター（地域指導者）として、西中学校女子バスケットボール部の指導しているかたわら、地元神淵中学校でバレーボール部の顧問をしている、榎間誠教諭にMT夢クラブ21について話してもらいました。

MT
夢クラブ
21

サポーター

理想は、地域の人と教師が指導の方向性を確認しつつ、進めていく部活動

神淵中学校教諭

榎間 誠さん



▲榎間誠さん。神淵中学校の女子バレーボール部を指導するかたわら、夢クラブのサポーターとして限られた時間の中で、西中学校の女子バスケットボール部の指導もしています。

部活動があり、自分自身は神淵中学校のバレーボール部の指導を優先しています。

そのため、MT夢クラブ21のサポーターとして、西中学校女子バスケット部を指導できる日数は、かなり限られています。

本場にスポーツが好きで地域に根付いた人がいるならば、部の指導者として教師と地域の人が指導の方向性を確認しつつ、進めていくことが理想だと思っています。（実際、西中学校の女子バスケットボール部も地元の小川富雄さんが長年、コーチとして関わっています。）

一方、顧問をしている神淵中学校のバレーボール部でも、地域の人に指導を助けていただいています。また週1回、「親子バレーボール」という時間が生まれ、その活動は現在も続いています。

教員の場合、何年かすればその地域から転任してしまいます。教員だけが必死になってその部を見ていく時代は過去になりつつあるような気がします。

このように、学校の部活動は大きな移行期を迎えているのではないかと思います。しかし、実際には地域の人々が部活動に関わっているのはまだ少数で、

その多くは教員が行っている状況です。学校教育の中の部活動は、その顧問が生徒を指導していくことで、生徒とのパイプを太くしていきます。その点で非常に重要な場だと思うのです。また、授業でなかなか活躍できない子も、部活動ではいきいきできて救われる場でもあるのです。今後、こういったことは大切にしていかなければならないと思います。

そのためには教員と地域の指導者が、役割分担をして生徒をプラスの方向へと導いていくことが重要だと思っています。

こうした中で実際に部活動を行ないながら、MT夢クラブ21として、別の種目に取り組んでいる子どももいます。

若い時代にいろんな種目に取り組むことは、生涯体育の観点から大切なことだと思っています。

学校の部活動以外に複数の種目に取り組む生徒が増えて、休日や夜の時間をうまく使いながらMT夢クラブ21のようなスポーツクラブに気楽に参加していけるいいのではないかと思います。

現在、七宗町立神淵中学校の女子バレーボール部の顧問をしています。

神淵中は、存じのとおり、小規模の学校ですので、部活動数も少なく、バスケットボール部もありません。自分が30年ぐらい関わっている、バスケットボールの競技者、審判員としての経験を生かせる場があるなと思い、引き受けることにしました。可茂地区で同じ種目だと引き受けることができませんでしたが、違う種目だったので、引き受けることができたと思います。

ただ、土・日曜日の休日のいずれかは

始まったMT夢クラブ21の意義を担当者は・・・

最後に、このMT夢クラブ21の担当者で、市体育課の酒向園実さんについて話してもらいました。

MT
夢クラブ
21

担当者

学校中心のスポーツ活動が、逆にスポーツ
をする機会を遠ざけてしまう結果に

市体育課
酒向園実さん



▲酒向園実さん。県の社会教育主事。市体育課に、
スポーツ担当として、県から派遣されています。

今年の4月1日から、学校完全週5
日制が実施され、子どもたちがゆ
とりの中で目的をもち、いきいきと活
動のできる環境づくりの推進が求めら
れています。

そんな中で美濃加茂市は富加町と合
同で平成12年度から学校、地域、各種団
体、行政が連携し「2002年対策委員
会」を設置し、中学校の部活動のあり方
や小学校における文化・スポーツ環境
の現状や課題そして今後の方向性につ
いて検討してきました。

中学校の部活動の課題としては、生

徒数が減少し、今後、学校によっては存
続が危ぶまれる部活動も出てくること
が予想されます。また、生徒数の減少か
ら教員数も減少傾向にあるため、教師
の負担も大きくなり、専門的な経験の
ない教師にはますます負担になってい
くのが現状であります。

中学校では部活動が全員加入制と
なっています。ただ、この中で自分で本
当に取り組んでみたいと思う種目の部
活動がないなど、問題が生じてきてい
ます。

また、小学生に目を向けてみると、ス
ポーツなどをする子どもと、そうでな
い子どもとの二極化の傾向が全国的に
見られます。こうしたことは、スポーツ
が子どもにとって「こころ」と「からだ」
の健全な発達を促してくれる大切なも
のであるだけに、考えていかなければ
いけない問題のように思えますね。

また、中学校の部活動やスポーツ少
年団のように、これまでのスポーツ活
動が学校中心に行われてきたことが、
学校を卒業するとスポーツなどをする
機会から遠ざけてしまう結果となつて
しまったのではないかと思います。

こうした現状を打開するために、学

校と地域社会が連携を取りながら、地
域に根付いたスポーツクラブづくりが
望まれるようになってきたわけです。

そこで、市と富加町は、この4月から
いつでも、どこでも、だれもが、いつま
でも気軽に文化・スポーツが出来る、
「総合型地域文化・スポーツクラブ」を
目指してMT夢クラブ21をスタートさ
せました。

このクラブは、最初のステップとし
て、小中学生がいろいろ文化やスポー
ツ体験できる環境づくりをスタートさ
せ、地域の人と一緒に活動ができるよ
うにすすめているところです。

また、小学校では、気軽に文化やス
ポーツ、自然体験ができる「チャレンジ
クラブ」を各校区で開催しています。

このクラブは半年しか経過していな
い手探り状態ではありますが、今後は新
たな指導者の発掘、各施設の有効的な
利用方法などについて地域、保護者の
理解や協力をどのように得ていくかが
次へのステップにつながるのではない
かと思っています。

こうしたことにじっくりと取り組
み、世代を越えたクラブに育っていっ
てもらいたいですね。

スポーツの秋

恒例の市民運動会が、市内各地で開催されました。
特に、運動会の華「対抗リレー」では、地元のあつい
声援を背中に受けてどの選手も全力で駆けていました。

10月13日：古井小学校



日本語って、難しいもんだなあ

一人でも多くの在住外国人に、日本語を教える
ことができればと、市民を対象にした「日本語の
教え方講座」を開催しました。

普段使っている日本語も、勉強してみるとかなり
難しいことに気づきました。

10月3日：中央公民館

お母さん、うまくかけたかなあ

職員による絵本の読み聞かせの後、その物語の
イメージを絵にする「イラストレーターになって
みよう」が中央図書館で行われました。

10月12日：中央図書館



ワイ、できたボクだけのポストカード

デジタルカメラで撮影した身近な草花を使い、
パソコンでオリジナルのポストカードを作る、
「森のポストカードづくり」が行われました。

参加者は、普段見慣れた草花が、すてきなカー
ドに仕上がり大喜びでした。

10月13日：みのかも文化の森



ほんと アングル

まずは、料理の基本から

ご飯の炊き方、ダシの取り方、魚のおろし方など、男性にも料理の基本を学んでいただこうと「男のわくわくクッキング」が開催されました。

参加者の最高齢者は、今枝 勇さん82歳でした。

10月10日：中央公民館



ハープを聞く会

西中学校の家庭教育学級主催による、ハープを聞く会が開催されました。この演奏会に合わせ、保護者と教職員にコーラスへの参加者を呼びかけたところ、36人が参加。ハープの演奏に合わせ、「いつも何度でも」と「地球の詩」の2曲を歌いました。

10月5日：みのかも文化の森

親子のふれあいを再発見

市レクリエーション協会主催による、第1回の市民交流レクリエーション大会が開催されました。

訪れた市民は、ディスクを的めがけて投げ、一番近い人が勝つディスクーンなど6種類のゲームを楽しみました。

10月6日：山手小学校



美濃加茂健康ファミリー

第54話 コワイイ糖尿病も、予防から

茂子「ねえお父さん、柿食べない？」「く甘くておいしいわー」
加寿夫「おまえ、夏から梨やら柿やらよっさん食べとるけどなあ。最近太ったんやないか？」

茂子「果物はビタミンがとれるし、たくさん食べても大丈夫だと思っくんやけど……。久しぶりに体重測ってってみるわ」
茂子「うわっ。2キロも増えてるー」

加寿夫「果物はけっこ甘いなあ、油断は禁物ってことやな。そういえば、最近、糖尿病予備軍が増えているらしいぞ」

茂子「糖尿病予備軍？」

加寿夫「糖尿病と正常の中間の人をいうんやと。40歳以上の日本人の約20%がそうらしい。薬で治療する必要はなくても、そのまま放っておくと糖尿病になってしまうから、生活習慣をつまくコントロールする必要があるんやと」

茂子「へえ。知らなかったわ。生活習慣のコントロールのポイントをちょっと勉強してみようかな」

糖尿病は、膵臓から出るインスリンというホルモンが不足して起こる病気です。

インスリンが足りなくなると、エネルギー源となるブドウ糖をからだ

の中でうまく使えず、糖代謝のバランスが崩れま

す。

糖尿病がこわいのは、全身の組織や機能に深刻な合併症を引き起こすことです。

予防のために

大切なのは次の3点です。

①バランスの良い食事をとろう

一日三食、薄味で食物繊維たっぷりのバランスのよい食事を取り、アルコールはほどほどにしましょう。

②肥満を防ごう

肥満度が高いほど糖尿病にかかりやすくなります。自分の適正体重を知り、これを維持できるように心がけましょう。

③運動の習慣をつけよう

日常生活で体を動かすことや運動習慣をもつことは糖尿病の発症を予防します。

その仕組みとしては、運動をする



Healthy&Life

健康と子育て・教育

だんらん

第44話 クッキー事件

「ねえ、これ食べていいの？」
卓上のクッキーに目をつけ長男が聞く。私は、台所に立ちながら考える。(それってあの子(二男)がもらってきたお菓子。

あの子は『後で、みんなで分けるで』といって遊びに行ったわ。まあいいか)私が声をかける「2つだけね!」。それを聞きつけ

三男までが、2つ3つとほおばる。遊びから帰ってきた二男が、少しになったクッキーを見つ

つけ、大げんか。これが、我が家のいつもの光景。

ところが、ある研修会でこんな話を聞きました。「家庭の中には、子どもの心が育つ出来事がいっぱい。大切なのは、目には見えない人の思いを感じ取り、伝え合うこと。」

あのクッキー事件。

もし自分が、『みんなに分けるよ』という二男の優しい思いを感じ取り、長男たちに伝えていたとしたら、もしかすると3人の子どもたちが分け合って、楽しく食べる光景になっていたかもしれない。自分の一言が、二男の思いやりを台無しにし



てしまった……。私たちは、つい「思いやりのある子になりなさい。優しい子になつて」と理屈で子育てしようとしてしま

す。でも、小さな子どもの心は、五感を通して肌で経験し、心が揺れた時大きく育つようです。クッキー事件

というならば、弟が分けてくれたお菓子の味、兄弟で分けた

いと思つた自分の心を「優しいね」と受け止めてくれた母の顔、おいしいなあ

と喜ぶ声。それらを肌で感じ、ホッとうれしくなつた実体験こそが「思いやり」という心の育つ時だったの

でしょう。「思いやり」は、人

の間で大きな「生きる力」になるのです。

心が育つ場所……家庭。とはいえ、人間は感情的な動物です。親だからと、いつも心穏やかでは

いられません。そんな自分の弱さを感じつつ、少しでも子どもの心の動きを見つめ、思いを感じて子育てしていきたいと思

ひとつと言わせて！

公立保育園での、 障害児の受け入れは？

保育園の入園受付の一覧表を見て、障害児の保育が私立のM保育園のみだった事に驚きました。「バリアフリー」などの言葉を耳にしたことがありますが、障害児とそうでない子と小さな時からコミュニケーションを取り合い助け合いをしていったほうがよいと思います。

市としては、障害児はふつうの保育園に入園することは困難という方針なのでしょう。生まれつき障害を持つ子も途中からの子もいると思いますが、分け隔てなく保育していただきたいと思います。

以前、ある市の公立保育園の運動会を見に行きました。義足の子がみんなと一緒に走ったり、踊ったりしていました。ほかの子のように速く走れませんが、踊るのもテキパキはしていませんでしたが、とてもいきいきして輝いていました。みんな一生懸命応援しました。

年少の時よりも年中、年中の時よりも年長とその子も活発にみなと同じようにしたい気持ちと努力もあり、動けるようになったようです。

みんな助け合えば、もっと温かい心を持つ人が増えると思います。

太田町 Tさん

貴重なご意見ありがとうございます。

広報での一覧表にあるように、障害児保育については、民間のM保育園が主体となっており、他の保育園でも現状の保育士配置や施設整備状況の中で受け入れを行っているところですが、ご意見のように、障害児にとつて同年齢の子と生活する「統合保育」は、人的にも物的にも多くの刺激が受けられ多面的な成長ができることと思います。一方、健常児にとつても、優しさや思いやりが育つ環境とあります。

入園に際しては、大人の手も必要になり、障害児1人に保育士を1人つけることはできません。しかし、許される範囲で受け入れができるよう努めてまいります。

児童課

広報室について

市民が行政に対して意見や要望、提案などをしようとするとき、その

Opinion

みなさんからの意見

このページはみなさんからのご意見などを紹介しています。
あなたのご意見を、お待ちしております。

方法として電話や投稿、メールなど色々あります。中には、直接広報課を訪れる方もいて、広報担当職員に伝えたいと思っている市民もいます。そのため、広報室はサロンのように、市民が気軽に訪れて話ができるようなアメニティの空間であることが必要だと思います。

しかし、現実の広報室は本館から西館、現在の場所へと移るに従って狭くなり、今はお義理程度の机といすが置いてあるだけ。担当の職員の人たちとゆつくり話し合えないようになってきました。

広報が市民と行政の接点として大事な役目を担っていると考えてみえるのなら、市民が気軽に訪問し、話ができるようなくつろいだ空間を整えるべきではないでしょうか。

加茂野町 Nさん

貴重なご意見ありがとうございます。

広報コミュニティ係は、平成12年と今年と2回ほど場所が移っています。確かにNさんがおっしゃるように、広報室の理想は「サロン」のように市民のみなさんが気軽に訪れて話ができるようなアメニティの空間があればと思います。

しかし、残念ながら現庁舎では、今のスペースを確保するのが精一杯

でした。また、厳しい財政状況から、新たなスペースの確保は難しいのが現実です。

しかし、広報が市民と行政の接点であることは、十分認識しています。広報みのかも10月号のように、市民のみなさんに紙面づくりへ参加していただくなど、親しみやすい広報の編集に心がけ、みなさんといっしょにまちづくりを行いたいと思います。

これからも、応援よろしく願います。

市民まちづくり推進室

「広報みのかも」を読んだ感想や特集として取り上げてほしい内容、身近な話題やうれしかったことや腹が立ったことなどを気軽にしがきやファックスまたは、電子メールでお寄せください。広報紙上では、匿名で掲載しますが、お便りには住所、氏名を必ずご記入ください。あなたの声をお待ちしています。

◇はがき 〒505-8606 美濃加茂市役所市民まちづくり推進室
広報コミュニティ係

◇FAX 0574-28-1290

◇電子メール kouhou@city.minokamo.gifu.jp

スポーツ

チームワークが勝利の鍵

市民綱引大会

プラザちゅうたい 26・3241

◇とき 12月8日(日)
午前9時～

◇ところ プラザちゅうたい

◇参加資格

市内在住・在勤・在学の人

◇チーム編成

監督1人、コーチ1人、選手

8人、交替2人以内

※監督・コーチが選手を兼ねる

場合は選手登録が必要です。

※小学生の部は1チーム12人を

超えても登録できません。

※体重制限はありません。

◇部門

・男女混合一般の部 男子4

人・女子4人 年齢制限無し

・ファミリーの部

一般男子2人・一般女子2

Information Board

情報かわら版

人・小学生以下4人

・小学生男子の部

学年は問いません。

・小学生女子の部

学年は問いません。

◇参加料 無料

◇申込み 申込用紙に必要事項

を記入の上、11月22日(金)ま

でにプラザちゅうたい、また

は各連絡所へ

※申込用紙はプラザちゅうたい

各連絡所にあります。

環境

リサイクルにご協力を

資源回収

環境課 内線307

◎伊深小学校PTA・同校下

◇とき 11月17日(日)

午前8時～(小雨決行)

◇回収品目 新聞紙・雑誌・ア

ルミ缶・牛乳パック・ビン類

健康

すこやかな成長を願って

すくすく育児教室

健康課 内線389

◇とき 11月21日(木)

午後1時30分～3時30分

◇ところ 保健センター

◇対象

9・10カ月児を育児中の人

◇定員 15人(先着順)

◇内容

・小児科医の話

「赤ちゃんの発達」

「病気と健康」

・言語訓練指導員の話

「子どもの心を育む遊びと

おもちゃ」

◇申込み 11月5日(火)から

健康課で受け付けます

※当日は託児もあります。

市道大堀後田線の

バリアフリー化

が完成しました

維持管理課 内線412

市道大堀後田線(通称OS通り:太田町波の上～古井町下古井間)のバリアフリー化が完成しました。

点字ブロックの設置や、2車線の車道と段差のない片側歩道の整備で、人にやさしい道路に生まれ変わりました。



バリアフリー化が完成した市道大堀後田線

▼歩道・点字ブロックを整備し、車道と歩道の段差をなくしました。



- ◇市役所 25・2111
8:30～17:00
- ◇中央公民館 25・4141
8:30～21:30
- ※日・祝日は17:00まで
- ◇保健センター 25・4145
8:30～17:00
- ◇中央図書館 25・7316
10:00～18:00
- ※土・日・祝日は17:00まで
- ◇東図書館 26・3001
10:00～18:00
- ※土・日・祝日は17:00まで
- ◇総合福祉会館 28・6111
9:00～16:30
- ◇プラザちゅうたい 26・3241
8:30～21:30
- ※日・祝日は17:00まで
- ◇文化会館 25・1108
9:00～22:00
- ◇みのかも文化の森 28・1110
9:00～22:00

65歳以上が対象です

インフルエンザ予防接種

健康課

内線388

市では、65歳以上の希望者を対象にインフルエンザの予防接種料金1回分を助成します。

対象者には、案内通知をすでに郵送済みです。申し込みは済みですか？

※詳細は郵送済みの案内通知をご覧ください。

車いす常用の身体障害者が対象です健康診査

福祉課

内線312

身体障害者で車いすを常に使用している人を対象に健康診査を行います。

◇とき 11月29日(金)

◇ところ 木沢記念病院

◇対象 市内在住在宅で、車いすを常用する18歳以上の身体障害者

◇受診料 無料

◇定員 10人(先着順)

◇申込み 11月22日(金)までに直接または電話で福祉課へ

講座

生活習慣病に関するお話です

健康づくり講演会

健康課

内線387

◇とき 11月30日(土)

午後1時30分～3時30分

◇ところ 総合福祉会館

◇演題 「大丈夫ですか？あなたの生活習慣！」

◇講師

日本体育協会認定スポーツドクター 山田實紘さん

◇定員 200人

◇受講料 無料

※申し込みは不要です。

※講演のほかに健康体操を行います。

0歳からの子育て講座

青少年育成講演会

教育センター 28・3255

◇とき 11月16日(土)

午後2時30分～4時10分

◇ところ 総合福祉会館

◇演題 共歓から共感へ
「最近だっつてされてますか？」

◇講師 全日本レクリエー

シヨンリーダー会議事務局長
二本松はじめさん

◇参加料 無料

※申し込みは不要です。

市民まちづくり学習講座

高齢者および

障害者福祉講座

市民まちづくり推進室

内線361

◇とき 11月24日(日)

午後1時～4時

◇ところ 花時計(加茂野町)

◇講師 特定非営利活動法人

花時計代表 岸智津子さん

◇内容 高齢化社会の課題と取り組みについて

※講演のほかに実際の介護を体験します。

◇定員 30人

※応募者多数の場合は抽選となります。

◇参加料 無料

◇申込み 11月15日(金)までに直接または電話、インターネットで市民まちづくり推進室へ

※ホームページ → <http://www.city.minokamo.gifu.jp/home/sosiki/machi/DAGAKU/try.html>

地球環境について考えてみよう

環境講演会

同日開催

■とき 11月24日(日)
午後1時30分～3時

■ところ みのかも文化の森

■受講料 無料

■テーマ 「地球温暖化問題と日常生活の関わりについて考える」

■講師 NPO法人環境自治体会議環境政策研究所 所長 中口毅博さん

■定員 120人

※申し込みは不要です。

※講師のプロフィールについては、広報みのかも8月15日号をご参照ください。

環境課
内線304

みんなで森へでかけよう

環境フェア

■とき 11月24日(日)
午前9時～午後4時

■ところ みのかも文化の森

■内容

○展示コーナー

・リサイクル商品・生ごみ処理機・大気環境木

○遊び・体験コーナー

○リサイクル自転車の抽選

(午前11時および午後3時15分から各2台)

○リサイクル商品の無料配布

○ソーラーカーの展示・試乗

(雨天の場合は、展示のみ)

○エコロジー工作

(午前9時30分～午後2時30分、30分ごとに各10人。ただし、正午～午後1時までの時間は除きます。)※先着順に参加券を配付します。

見直そう子どもの姿

みのかもの子どもを

たくましく育てるついで

青少年課(中央公民館)

25・4141

◇とき 11月16日(土)

午後6時30分～

◇ところ 中央公民館

◇入場料 無料

◇内容

○少年の主張入賞作品の発表

○市民会議標語入賞作品の発表

○パネルディスカッション

「呼びかけよう愛のひと声」

見直そう子どもの姿

○地域活動紹介

「鷹の巣の子ども獅子舞」

※会場内に「友だち・友情」を

テーマに募集した市内小学生

の標語を展示します。

その他

注意してください

プラザちゅうたい利用日

プラザちゅうたい 26・3241

産業祭の開催に伴い、プラザちゅうたいの利用時間を変更します。体育施設利用の申請

などの際は注意してください。

◇閉館時間

・11月7日(木)～10日(日)

午後5時まで

※11月5日(火)～10日(日)は大

ホールは利用できません。

※11月7日(木)～10日(日)は全

館利用できません。

考えましよう！あなたの体

労働災害などの

相談に応じます

(財) 労災年金福祉協会

058・262・5830

仕事の疲れやストレスからく

る健康のことや、過労死、精神

障害、労災補償に関する相談に

応じています。秘密は厳守さ

れ、相談は無料です。

詳しくは、(財) 労災年金福祉

協会岐阜労災年金相談室へ

信用と安全は正確なばかりから

計量器(はかり)の

定期検査

商工観光課

内線263

取り引きなどに使う計量器

(はかり)は、計量法により定期

検査が義務づけられています。

◇持ち物

印鑑・岐阜県収入印紙

※岐阜県収入証紙は、当日検査

会場の農協各支店(市役所は

大垣共立銀行市役所派出所)

で取り扱いいます。

◇検査の日程

検査日	時 間	場 所	対象地区
11月13日(水)	午前10時30分～11時30分	美濃加茂農協 蜂屋支店	蜂屋 加茂野 伊深 三和
	午後1時～3時	同山之上支店	山之上
11月14日(木)	午前10時30分～11時30分	同下米田支店	下米田
	午後1時～2時	同古井支店	上古井
11月15日(金)	午前10時30分～午後2時45分	市役所	下古井 太田

火災や不法投棄の原因になります

農地の適正管理を

農業委員会

26・3241
内線333

農地を放置すると雑草が生い

茂り、病害虫の温床となり、近

隣の耕作者の迷惑になります。

所有する農地については、定

期的な草刈など、適正な管理を

お願いします。

※草刈り(有料)などの依頼は、

JAみのかも(28・123

4)、市シルバー人材セン

ター(25・0710)へ

資源を有効活用

使用済み食用油 回収します

牛乳パックなどを

市と市生活学校では、使用済み食用油と牛乳パックなどの回収を行います。

環境課
内線307

■回収日程 11月18日(月)

地 区	時 間	場 所
太 田	9:00～10:00	市役所西館前
古 井	10:30～11:30	古井連絡所
山之上	9:45～10:15	山之上連絡所
蜂 屋	9:45～10:15	蜂屋連絡所
加茂野	9:00～9:30	加茂野連絡所
伊 深	10:30～11:00	伊深連絡所
三 和	11:10～11:30	三和連絡所
下米田	9:00～9:30	下米田連絡所

《回収にあたってのお願い》

- ①事業所などからの食用油は、回収しません。
- ②使用済み食用油は、ペットボトルなどの容器に入れてください。
- ③牛乳パックは水洗い後、切り開いたものをお持ちください。
- ④ジュースやコーヒーなどのパック(内側にアルミが使用してあるものは除く)も回収します。

※下古井公民館での回収は利用者が少ないため、今年度から実施していませんのでご注意ください。

25・2178

ほめて伸ばそう子どもの力 花まるカード

市少年センターでは、努力した子どもや、元気で明るい子どもたちに、「愛のひと声 花まるカード」を手渡しています。

※カードの詳細は青少年課へ

このカードを持っている子どもを見かけたら、ご家族や学校の先生、みんなでほめて、青少年の良い芽を伸ばしましょう。

青少年課（中央公民館）
25 - 4141



▲愛のひと声 花まるカード

平成14年度 自衛隊生徒募集

自衛隊美濃加茂分駐所

25・7495

◇受付期間

11月5日（火）～
平成15年1月7日（火）まで

◇受験資格

15歳以上17歳未満
（平成15年4月1日現在）の男子で中学卒業者（平成15年3月卒業見込み含む）

◇試験日

平成15年1月11日（土）

※詳しくは自衛隊美濃加茂分駐所（可茂総合庁舎4階）まで

司法書士による相談会です 無料相談会開催

岐阜県司法書士会中濃支部

25・1913

◇とき

11月16日（土）
午後1時～4時

◇ところ

中央公民館

◇相談内容

商業・法人登記、不動産登記、供託、裁判所などへの提出書類作成

※相談を希望する人は11月13日（水）までに電話で岐阜県司法書士会中濃支部（織部支部長）へ連絡してください。

クリスマスキャンドルを作ろう

- ◇とき 11月24日（日）午前10時～正午
- ◇内容 クリスタルに輝くクリスマスキャンドルを制作します
- ◇対象 小学生以上
- ◇定員 36人
- ◇受講料 1,500円



▲クリスマスキャンドル

- ◇申込み 11月10日（日）までに直接または電話でわくわく体験館（可児市塩河）へ
- ※申し込み多数の場合は抽選となります。

わくわく体験館
65-1515

焼却施設（焼却炉）の構造基準が厳しくなります

12月1日から廃棄物の処理および清掃に関する法律施行規則の新基準が適用になり、下記の構造基準を満たさない焼却施設は使用できなくなります。

- ①空気取入口及び煙突の先端以外に焼却設備内と外気とが接することなく、燃焼室において発生するガス（以下燃焼ガス）の温度が摂氏800度以上の状態で廃棄物を焼却できるものであること
- ②燃焼に必要な量の空気の通風が行われるものであること
- ③外気と遮断した状態で、定量ずつ廃棄物を燃焼室に投入することができるものであること（ガス化燃焼方式など構造上やむを得ないと認められる焼却設備の場合を除く）
- ④燃焼室中の燃焼ガスの温度を測定するための装置が設けられているものであること
- ⑤燃焼ガスの温度を保つために必要な助燃装置が設けられているものであること

◎既存の焼却施設を引き続き利用される場合や、新しく焼却施設を設置される場合は岐阜県中濃地域振興局環境課（25-3111 内線219）で事前に確認をしてください。

環境課 内線 304

①平成14年分年末調整説明会

- ◇とき 11月22日（金）
午後1時30分～3時30分
- ◇ところ 文化会館

関税務署
0575-22-2233

税務課
内線 213

②平成14年分所得税の青色申告決算等説明会

（消費税および地方消費税についても説明します）

- ◇とき 11月27日（水）
午後1時30分～3時30分
- ◇ところ 文化会館

※いずれの説明会も郵送された資料を持参の上ご来場ください。なお、用紙など不足がある場合は、説明会開催日に会場内受付にて申し出ていただくか、次の担当へお問い合わせください。

①年末調整説明会

源泉所得関係	関税務署源泉所得税担当
法定調書	関税務署資料情報担当
給与支払報告書	市役所税務課市民税係

②所得

青色申告関係	関税務署個人課税第一部門
給与支払報告書	市役所税務課市民税係

ひとりで悩まないで

相談

してネ!

※相談は、会場が休館日の場合はお休みです。

□行政相談

と き：22日(金)

午前9時～11時30分

ところ：上古井公民館(28-9878)

[相談員・渡辺春芳さん]

加茂野公民館(25-2493)

[相談員・高井和子さん]

問い合わせ：行財政課 内線 274

□弁護士による無料法律相談

と き：13日(水)・27日(水)

午後1時～4時

ところ：総合福祉会館

問い合わせ：社会福祉協議会 28-6111

※定員10人(先着順)です。当日の午前8時30分から電話で受け付けます。

□法務局による出張人権相談

(人権・登記・相続)

と き：20日(水)

午後1時～4時

ところ：総合福祉会館

問い合わせ：社会福祉協議会 28-6111

□結婚相談

と き：毎週土曜日・午前9時～正午

ところ：総合福祉会館

問い合わせ：社会福祉協議会 28-6111

□心配ごと相談

と き：毎週水曜日・午後1時～4時

ところ：総合福祉会館

問い合わせ：社会福祉協議会 28-6111

□すこやかコール美濃加茂

(福祉相談電話) 28-1100

と き：日曜日・祝日を除く毎日

午前8時30分～午後5時

□健康相談

と き：毎週水曜日

午前9時30分～11時

ところ：保健センター

問い合わせ：健康課 25-4145

□教育相談

と き：毎日

午前9時～午後4時

ところ：みのかも文化の森2階

問い合わせ：教育センター 25-3999

□老人介護の相談

と き：年中無休・24時間

ところ：

すこやか在宅介護支援センター

(総合福祉会館内 28-1101)

みのかもし在宅介護支援センター

(ナーシングビル内 27-2500)

□家庭児童相談

と き：毎週月・火・木・金曜日

午前8時30分～午後4時

ところ：中央公民館1階家庭児童相談室

問い合わせ：家庭児童相談室 25-1110

□母子・寡婦福祉相談

と き：12日(火)

午前10時～午後3時

ところ：中央公民館1階家庭児童相談室

問い合わせ：児童課 内線 308

□高齢者職業相談

と き：毎週月・水・金曜日

午前9時～午後4時

ところ：中央公民館5階職業相談室

問い合わせ：職業相談室 内線 405

□母子健康手帳交付

と き：毎週月曜日

受付：午前10時～10時15分

ところ：保健センター

問い合わせ：健康課 25-4145

市民相談の受付

市民相談室(内線 408)

◇ところ 市役所内太田連絡所

◇と き 午前8時30分

～午後5時

今月の税金・保険料

◇国民健康保険料 8期分

(市民課国民健康保険係・内線 217・222)

◇介護保険料 8期分

(福祉課介護保険係・内線 317・319)

◇下水道受益者負担金 3期分

(下水道普及係・内線 291・294)

納期は12月2日(月)です。

※納付には、便利な口座振替をご利用ください。

休日の水道修理店

2日・土	中濃瓦斯(株)	26-3148
3日・祝	ワタナベ設備(有)	26-2889
4日・水	セキスイ管工(株)美濃加茂(営)	26-0253
9日・土	中部設備巧業	26-9804
10日・日	伊藤設備	26-8738
16日・土	大塚設備	25-3257
17日・日	(株)今井水道工務店	25-2644
23日・祝	(株)アンドー	26-0787
24日・日	桂川電気産業(株)	26-3225
30日・土	(有)兼松管工	26-6718

休日急患診療所

加茂休日急患診療所(内科・小児科) 26-7145

◇受付日 日曜日・4日(振休)・23日(祝)

午前9時～正午、午後1時～4時

休日急患歯科診療

診療時間：午前9時～午後3時

3日・祝	あじさい歯科医院	24-1881
4日・水	まるも歯科医院	25-8148
10日・日	佐藤歯科医院	25-2010
17日・日	高木歯科医院	25-2464
23日・祝	長江歯科医院	26-1952
24日・日	中島歯科医院	26-0390

各施設の休館日

◇市役所	土曜日・日曜日・4日(振休)
◇中央公民館	3日(祝)・17日(日)
◇中央図書館	毎週月曜日・17日(日)・27日(水)
◇東図書館	毎週金曜日・17日(日)・27日(水)
◇総合福祉会館	毎週日曜日・4日(振休)・23日(祝)
◇プラザちゅうたい	毎週月曜日
◇文化会館	毎週月曜日(4日を除く)・5日(火)
◇みのかも文化の森・市民ミュージアム	毎週月曜日(4日を除く)・5日(火)・26日(火)

- 1・金 全国青少年健全育成強調月間
市子ども展（～11月4日、文化の森）
- 2・土 フォークダンスフェスティバル（プラザちゅうたい、10時～）
- 3・祝 文化の日・市民文化祭・茶華道祭（文化会館、9時30分～）
リサイクルステーション・アルミ缶回収（市役所駐車場、9時～11時）
市民バレーボール大会（プラザちゅうたいほか、9時～）
鳴子踊り in 太田宿（中山道太田宿周辺、10時～）
- 4・振休 市民の劇場 映画「化粧師」（文化会館、10時～・14時～・18時～）
- 5・火 体育指導委員定例会（プラザちゅうたい、19時30分～）
- 6・水
- 7・木
- 8・金 ドリームコンサート～横笛～（文化会館、19時～）
ミュージアムフォーラム「交流する博物館」（文化の森、14時～）
- 9・土 秋の全国火災予防運動（～15日）
みのかも産業祭（～10日、会場：プラザちゅうたい、JAみのかも）
- 10・日 市民の劇場 映画「アトランティス」（文化会館、10時～・14時～・18時～）
- 11・月
- 12・火 四季を食べる講座「へぼご飯」（文化の森、10時～）
- 13・水
- 14・木
- 15・金 グラウンド調整会（プラザちゅうたい、18時～）
- 16・土 朗読フェスティバル（～17日、文化の森）
第6回ウォークみのかも（蜂屋公園グラウンド、8時40分～）
青少年育成講演会（総合福祉会館、14時30分～）
みのかもの子どもをたくましく育てるつどい（中央公民館 18時30分～）
- 17・日 市民音楽祭（文化会館、10時30分～）
- 18・月
- 19・火
- 20・水
- 21・木
- 22・金
- 23・祝 勤労感謝の日・市美術展（～12月1日、文化の森）
まゆの家まつり（～24日、文化の森、10時～）
スポーツ少年団駅伝大会（前平公園周辺、8時30分～）
チャレランみのかも（健康の森、13時～）
第四土曜映画会（中央公民館、10時～）
- 24・日 環境フェア・環境講演会（文化の森、フェア：9時～、講演会：13時30分～）
高齢者および障害者福祉講座（花時計、13時～）
アートな1日講座「テーブルコーディネート」（文化の森、13時～）
- 25・月
- 26・火 学校開放調整会（プラザちゅうたい、19時～）
- 27・水
- 28・木
- 29・金
- 30・土 森の体験講座「森の間伐と下草刈り」（文化の森、10時～）
健康づくり講演会（総合福祉会館、13時30分～）



エノコログサ

四季彩

こよみ

11月

ほっと
ひととき

10月になっても、各地区の市民運動会の日ってなぜか暑いんですね。賛否両論はあるこの運動会ですが、やはり、地区の対抗リレーは走る側も応援する側も熱いです。そんなことをいつていても、もう11月。今年もあと2カ月しかありません。早いですね。（H）

私の名前は、「タイシボウ」。「主人に連れ添って、20年。人もうらやむ相思相愛でした。ところが、最近、主人は浮気をして、私はヤセル思いで日々暮らしています。あんなに仲の良かった二人なのに・・・これから、食欲の秋だというのに・・・」てなワケで、主人であるSは、ただ今、懸命に体脂肪を燃やして減量中です。（S）

先日、石川県のとあるイベントで、ロープの外から自前のカメラで写真を撮っている人と（趣味で）、「報道」腕章をした記者と思われる人がロープ内に入り込み、惜しげもなくバシャバシャ写真撮っていました。

広報として、ときには関係者以外立入禁止場所へ入り込んで撮影している自分も、今回はプライベートのため、うらやましげに見ているしかありません。「悔しい、でもうらやましい」久しぶりに一般参加者の「悔しさ」を味わいました。（K）

あーとフォーカス

33



1990年 御影石 前平公園

「無題」

カルロス・リザリチュリー Carlos Lizariturry

スペイン出身の彫刻家の作品で、どっしりとした石の重量感が見どころです。
アンバランスな形は、角度によってさまざまな表情を見せます。